

目 次

巻頭言

日中共同研究参加者一覧

第1章 平成26年度 知的財産保護包括協力事業の概要	1
Ⅰ. 共同研究の背景と目的	2
Ⅱ. 共同研究の概要	3
Ⅲ. 研究者会議、意見交換会等の概要	4
第2章 研究内容の要約	13
第1節 日中における国家戦略の中の知財戦略に関する比較研究	14
第2節 知財の在り方に関する基礎理論の研究	16
第3節 知財の人材育成問題に関する比較研究	18
第3章 研究内容の報告	21
第1節 日中における国家戦略の中の知財戦略に関する比較研究	23
Ⅰ. 中国の知的財産保護戦略実施及び法治建設状況に関する論評（訳文） 呉 漢東 教授（中南財經政法大学）	24
Ⅱ. 中国の知的財産戦略推進における法執行体制改革の研究（訳文） 管 育鷹 教授（中国社会科学院）	36
Ⅲ. 日本における国家戦略としての知的財産戦略について 高倉 成男 教授（明治大学）	55
Ⅳ. 国際知的財産保護のグローバル化とローカル化の趨勢に関する研究（訳文） 熊 琦 副教授（中南財經政法大学）	71
第2節 知財の在り方に関する基礎理論の研究	89
Ⅰ. 特許制度の基礎理論の研究：経済効果の検証と制度設計上の留意点 中山 一郎 教授（國學院大學）	90
Ⅱ. 知財制度の在り方に関する基礎理論の研究 山根 崇邦 准教授（同志社大学）	99
Ⅲ. 商標保護に係る基本理論の研究（訳文） 李 明德 教授（中国社会科学院）	117
Ⅳ. “ビッグデータ”時代の知財保護の新たな構想（訳文） 唐 広良 教授（中国社会科学院）	136

第3節 知財の人材育成問題に関する比較研究	151
Ⅰ. 日本における知財人材育成に関する研究 - 特色ある学校教育モデルを踏まえ -	
菊池 純一 教授（青山学院大学）	152
Ⅱ. 中国の高等教育機関における知的財産人材育成体制の研究（訳文）	
陳 愛華 講師（重慶大学）	162
Ⅲ. 中国知財人材育成モデルの研究（訳文）	
曹 新明 教授（中南財經政法大学）	179

※ 本報告書の中国側研究者の報告書は、一般財団法人知的財産研究所が翻訳を担当した。なお、文中の訳注は[]で表記している。

本報告書は、一般財団法人知的財産研究所 川俣洋史研究第二部長、金子好之統括研究員、福田匡志主任研究員、井手李咲研究員、引地博幸研究員が担当した。